



編集後記

編集顧問	小川秋實	秋元成太	村井 勝
	郡健二郎	藤岡知昭	
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

早いもので今年も残すところあと1か月となりました。師走を彩る年末恒例の一大イベントのひとつに「今年の漢字」があります。「今年の漢字」は、公益財団法人日本漢字能力検定協会が主催する、その年の世相を表す漢字一文字を選ぶイベントで、奇しくも私が泌尿器科医になった1995年に開始されました。その年をイメージする漢字一文字の公募を行い、最も応募数の多かったものを「今年の漢字」として清水寺で発表することになっています。毎年12月12日に発表されますので、本号が皆様のお手元に届く頃かと思います。清水寺の奥の院舞台にて、清水寺の森清範貫主による揮毫により発表され、本堂での一般公開を経て、本尊の千手観世音菩薩に奉納されるとのことです。

さて先日、第31回日本排尿機能学会を主催させていただきましたが、学会テーマを東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故が発生した2011年の「今年の漢字」である「絆」としました。清水寺の森貫主に福島復興の想いを手紙にしたため、学会でのご講演と、ポスター用に「絆」の揮毫をダメ元でお願いしたところ、二つ返事でご快諾いただきました。加えて森貫主のご厚意で、学会の当日に会場で「絆」の文字をリアルタイムに揮毫いただけることになりました。

森貫主の話によると、平安時代初期、桓武天皇側近として蝦夷征伐において活躍した征夷大將軍・坂上田村麻呂が、清水寺の創建（本願）に深く関わったそうです。福島県の「田村」という地名（現田村市）は、坂上田村麻呂の名が由来しているといわれ、「田村」には坂上田村麻呂に関する多くの伝説が残っているとのこと。そんなご縁もあり、森貫主は特に東日本大震災以降、たびたび福島県を訪れておられたとのこと。

御年84歳の森貫主には、ご講演の前に福島県いわき産の大きな和紙に、「絆」の文字を揮毫いただきましたが、まさに“圧巻”の一言に尽きました。立てかけた和紙に揮毫いただいたので、文字から墨が滴り、荘厳な「絆」の文字の中に慎ましさが醸し出され、日本の美である“わび・さび”が見事に表現されました。生命が吹き込まれたその一文字は“最高級の芸術”です。

今、その揮毫いただいた「絆」は縁緑に収められ、とりあえず某所に置かれています。落ち着いたらしかるべきところに飾るかどうか思案しているところです。それまでの間、“最高級の芸術”をこっそり眺めながら、充実した今年1年をゆっくりと振り返りたいと思います。

（小島祥敬）

臨床泌尿器科（第78巻 第13号）（通巻945号）
2024年12月20日発行（毎月1回20日発行）

定価：3,190円（本体2,900円＋税10%）

2024年年間購読料
（増刊号を含む13冊、税込、送料小社負担）
冊子版 47,300円
電子版（個人）43,824円
電子＋冊子版（個人）49,324円

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5724
（担当：上甲・今田）

販売・PR部直通 (03) 3817-5650

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

印刷所 ㈱双文社印刷

広告取扱 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 販売・PR部 電話 (03) 3817-5696

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2024. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

* 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。